

# 10. 主な商品

## 小型トラック

### エルフ (ELF)

発表年月日	1959年8月26日
車名の由来	「小さい妖精、いたずら者」の意味から、俊敏で、小回りのきく機動性の高さを表しています。
特長	1959年に誕生した日本を代表する小型トラック。最新技術の継続投入により、経済性・安全性・耐久信頼性のすべてにおいて高い評価を得ているトップブランドです。海外仕様はNシリーズと呼ばれ、世界の多くの国々で小型トラックのベストセラーとしての地位を確立しています。7代目となる2023年のフルモデルチェンジでは、ラインアップの一つとして、いすゞとして初の量産バッテリーEV (BEV) を発売しました。また、ディーゼルハイブリッド車やCNG (圧縮天然ガス) 車もそろえており、カーボンニュートラル社会の実現を目指すとともに、さまざまな動力源を設定することで、「選べる自由」をお客さまに提供します。



エルフ  
(ELF)

### エルフEV

発表年月日	2023年3月7日
特長	持続的可能な社会の実現、カーボンニュートラルの達成に向け、いすゞとして初の量産バッテリーEVである「エルフEV」を新たに投入しました。商品開発の基盤である「I-MACS」を用いて、車両のレイアウトをディーゼル車と共通化することで、様々な架装にも対応可能となり、利便性を犠牲にすることなくEVを導入いただけます。EVの開発、販売にとどまらず、お客様へEVの導入計画の提案から課題解決、導入効果の検証までトータルでサポートし、お客様とともに「運ぶ」の未来を加速させます。



エルフEV

### エルフミオ (ELFmio)

発表年月日	2024年7月30日
特長	車両総重量 (GVW) 3.5トン未満のエルフミオは、AT限定の普通自動車免許で運転できる小型ディーゼルトラックです。物流業界を取り巻くドライバー不足や「2024年問題」に対し、ドライバーの裾野を広げるため、いすゞが示す一つの提案です。1.9Lディーゼルエンジンによる扱いやすい運転フィーリングと優れた燃費を実現しました。一般消費者でも気軽にアクセスできるオンライン販売チャネル「ELFmioストア」の開設によって、トラックの新しい使い方として「だれでもトラック」を目指します。



エルフミオ  
(ELFmio)

### エルフFCV

発表年月日	-
特長	2021年より、CJPT (Commercial Japan Partnership Technologies) の取り組みにおいて、いすゞは、トヨタ自動車とFCV小型水素トラックを共同開発しました。2023年2月より福島県、同年4月より東京都において、社会実装プロジェクトを通じた市場導入を開始。また福岡県でも新たに社会実装プロジェクトを開始し、2023年6月から市場導入開始。社会実装活動にて走行性能、水素充填等、使い勝手含め評価を行うとともに、CASEの普及を加速させることにより、カーボンニュートラル社会実現に貢献していきます。



エルフFCV

## 中型トラック

### フォワード (FORWARD)

発表年月日	1970年4月8日
車名の由来	「前進する、促進する」の意味から、車種構成の豊富さ、仕事の発展を表しています。
特長	幹線輸送、都市内配送、様々な工事、作業など幅広い用途に対応する中型トラック。高品質輸送を実現する4バグエアサスペンション車、積載効率を高めたショートキャブ車など、豊富な車種バリエーションを設定しています。海外仕様はFシリーズとよばれ、特にアジアやオーストラリアで好評です。2023年のフルモデルチェンジでは、先進安全装備の拡充や、操作性・快適性の大幅向上によりドライバーの安全性を高め、無事故社会の実現を目指します。15トン以上モデルは、米カミンズ社と共同開発した6気筒ディーゼルエンジンを搭載しました。



フォワード  
(FORWARD)

## 大型トラック&トラクター

### ギガ (GIGA)

発表年月日	1994年11月28日 (トラック) 1995年6月12日 (トラクタ)
車名の由来	「10億の、巨大な、大きな」という意味から、いすゞが扱う一番大きな商品であることを表しています。
特長	大型トラック&トラクタシリーズ。4バグエアサスペンションや機械式フルオートマチックトランスミッション「スモーサーGx」、先進視覚サポート技術「VAT」の採用等によって、コスト低減や安全性向上に率先して対応しています。海外仕様は単車系はCシリーズ、トラクタ系はEシリーズと呼ばれており、海外各国で実績を重ね、好評をいただいています。



ギガ  
(GIGA)

### ギガCNG (圧縮天然ガス) 車 / ギガLNG (液化天然ガス) 車

発表年月日	2015年12月 / 2021年10月
特長	いすゞは環境ビジョンに基づき、マルチパスウェイで技術開発を進めています。都市間トラック輸送でのCO <sub>2</sub> 排出量を低減し、NO <sub>x</sub> 排出量が少なCNG車は、一回のガス充填で東京-大阪間 (500km程度) の走行が可能。燃料供給装置にMPI (マルチポイントインジェクション) 方式を採用した6UV1エンジンを搭載しており、都市間走行で使いやすいパワー&トルクと省燃費性能、そして優れた静粛性を確保しています。LNG車は超低温液化化によって体積を圧縮できることから、ディーゼル車とほぼ同等の時間での充填が可能です。さらに、燃料の搭載効率が良いことから航続距離の向上を実現し、超長距離や高稼働の輸送を中心に、低・脱炭素化に貢献することができます。



ギガCNG車 / ギガLNG車

# 10. 主な商品

## バス

### エルガ (ERGA) /エルガミオ

発表年月日	2000年6月/1999年11月
車名の由来	「ERGA」はラテン語で「〜に向かって」という意味を持つことから、新たな時代に向かって走り始めた新しい路線バスをイメージさせました。
特長	大型路線バスのエルガと中型路線バスのエルガミオを展開。交通バリアフリー法への対応はもちろん、ユニバーサルデザインを採用して「標準仕様ノンステップバス認定制度」に適合した車両を用意しています。ドライバーステータスマニターと連動した自動検知式ドライバー異常時対応システムの搭載や空気の流れを考慮した換気システムの採用など、環境性と安全性を備えました。



### エルガ EV

発表年月日	2024年5月28日
特長	BEV化による環境対応のみならず、国内初となる車内フロアのフルフラット化を実現しました。従来のディーゼルエンジンモデルと同等の動力性能を確保しながら、路線バスで使用される航続距離をカバーしています。先進コネクテッドサービス「PREISM」をバスとして初めて採用し、予防整備や故障検知により高度純正整備が可能です。エルガEVは、国内路線バス市場における次世代化のけん引役を担い、公共交通におけるカーボンニュートラル化の実現に貢献します。



### エルガデュオ

発表年月日	2019年5月27日
車名の由来	いすゞの路線バスシリーズを表す「エルガ」に「2つ」を表す「デュオ」を加えました。「連節バスの2つの車両」と、「少ない乗務員で大量乗車が可能なという2つのメリット」をイメージする名前としました。
特長	日本の道路事情を踏まえた車両寸法とし、効率的な大量輸送を実現する国産初のハイブリッド連節バスです。発進・加速はハイブリッドモーター、定常走行時はディーゼルエンジンで走行するハイブリッドシステムを採用し、優れた環境性能と低燃費を実現しています。また、路線バスでは世界初の「ドライバー異常時対応システム (EDSS: Emergency Driving Stop System)」を搭載し、安心・安全な交通社会の実現に貢献します。



### ガーラ (GALA) /ガーラミオ

発表年月日	1996年12月/1999年11月
車名の由来	「お祭り・陽気な」の意味から、賑やかで明るい旅を期待させるとともに、「GALAXY (銀河)」の意味から、銀河を走るように美しく、優雅で壮大な旅へと導いてくれるバスを表現しています。
特長	大型観光・高速路線バスのガーラと中型観光バスのガーラミオを展開しています。環境性能、安全性・快適性など全てを高いレベルで調和させており、上質な走りと快適な旅をお約束します。



## 海外生産車

### ISUZU D-MAX (いすゞ ディーマックス)

発表年月日	2002年5月
車名の由来	Dは、Diesel / Design / Durabilityの頭文字から引用。MAXは、最大・最極化を表現する。
生産国	タイ (泰国いすゞ自動車)
主な販売地域	タイなど世界約120ヶ国
特長	世界のさまざまなシーンで活躍する1t積クラスのピックアップトラック。優れた耐久性や走破性と、3種類のキャブ形状をはじめとする多彩なバリエーションは、トラック本来の用途はもとより、乗用車ユースの領域まで幅広いユーザーのニーズに応えています。2024年3月のバンコク国際モーターショーではバッテリーEVの参考出品車両を公開。2025年に欧州へ先行導入、豪州、タイなど他エリアにも順次展開します。



### ISUZU MU-X (いすゞ ミューエックス)

発表年月日	2013年10月
車名の由来	MUは、Multi Utilityの略。Xはシートアレンジにより乗車人数にフレキシブルに対応でき、「速い：エクスプレス」や「極限：エクストリーム」などの意味を持たせています。
生産国	タイ (泰国いすゞ自動車)
主な販売地域	タイ、オーストラリア、フィリピン他
特長	D-MAXをベースとしてPPV (Passenger Pickup Vehicle) と呼ばれるカテゴリ向けに開発。操縦安定性・快適性・安全性・悪路走破性を更に高め、世界のお客さまのニーズに応えます。



### TRAGA (トラガ)

発表年月日	2018年4月
車名の由来	EKTRA UNTUNGNYA, LEGA MUATANYA (たくさん積めてたくさん稼げる)
生産国	インドネシア (いすゞアストラモーターインドネシア)
主な販売地域	インドネシア
特長	いすゞが開発した新興国向け本格軽量トラック。ピックアップトラック「D-MAX」をベースにいすゞが培ってきた商用車の技術を採用し、「積載効率」「小回り性」「省燃費」の最大化を図り、お客様の利便性を追求しました。



# 10. 主な商品

## その他

### コモ (COMO) \*日産自動車によるOEM受給

発表年月日	2001年12月
車名の由来	商用車としての扱いやすさ、快適さ、経済性、社会・環境への配慮などを表すいくつかのキーワードを組み合わせたもの。
特長	広大な荷室スペースと高度な安全性、燃費性能と動力性能を備えたビジネスに最適なワンボックスです。



## コネクテッド

### MIMAMORI (みまもり)

発表年月日	2004年2月
特長	商用車テレマティクス「MIMAMORI」は、データ通信とインターネットを活用し、遠隔で車両の運行情報（燃費、CO <sub>2</sub> ・NO <sub>x</sub> ・PMの排出量、車両現在位置情報、ドライバーの運転操作情報など）を収集・解析するクラウド型の運行管理システムです。2022年1月には、国内商用車メーカー初の運行管理スマートフォンアプリ「MIMAMORIドライバー向けアプリ」の運用を開始しました。運行前の日常点検と荷役作業の記録管理機能を追加し、お客様の業務の効率化や物流の生産性向上を支援します。

## PREISM (プレイズム)

発表年月日	2013年10月
特長	いすゞ独自の稼働サポートサービス「PREISM」は、車両のコンディションデータをAIで解析し、整備に活用することで、お客様に圧倒的な安定稼働を提供します。業界随一の車両データ蓄積と活用の実績により、予兆を捉えて故障を未然に防ぎます。万一の故障時には車両が原因を瞬時に自己診断します。いすゞサービス工場でも車両の状況を把握することができるため、入庫後の問診時間が短くなり、トータルの修理時間を最小化することができます。

## GATEX (ゲーテックス)

発表年月日	2018年4月
特長	いすゞ、トランスロン、富士通の3社が、高度な商用車の運行管理や車両の稼働サポートサービス提供を目的として、2021年2月より構築を進めてきた商用車情報基盤。お客様から情報をお預かりする70万台以上の商用車向けにサービスを提供することで、商用モビリティ分野において最大規模のものとなります。商用車の運行情報と車両コンディション情報を活用した高度な運行管理や稼働サポートサービスの提供に加え、荷主・運送事業者・倉庫事業者などの基幹システムをはじめとした多様なデータ連携により、物流業界が抱えるさまざまな課題の解決に貢献する仕組みを提供します。

## いすゞから他社へのOEM供給

供給先	供給品目	供給先商標	開始時期
日産自動車株式会社	エルフ (小型トラック)	アトラス	2019年
マツダ株式会社	エルフ (小型トラック)	タイタン	2004年
	D-MAX (ピックアップトラック)	BT-50	2020年
UDトラックス株式会社	エルフ (小型トラック)	カゼット	2023年
	フォワード (中型トラック)	コンドル	2016年